

看護師国家試験出題基準

看護師国家試験出題基準 目次

必修問題	看-1
人体の構造と機能	看-11
疾病の成り立ちと回復の促進	看-16
健康支援と社会保障制度	看-24
基礎看護学	看-31
成人看護学	看-36
老年看護学	看-50
小児看護学	看-56
母性看護学	看-64
精神看護学	看-71
在宅看護論／地域・在宅看護論	看-77
看護の統合と実践	看-82
索引	看-86

必修問題

【必修】

目標 I. 健康および看護における社会的・倫理的側面について基本的な知識を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 健康の定義と理解	A. 健康の定義	世界保健機関<WHO>の定義 ウェルネスの概念
	B. 健康に関する指標	総人口 年齢別人口 労働人口 将来推計人口 世帯数 婚姻、家族形態 出生と死亡の動向 死因の概要 平均余命、平均寿命、健康寿命
	C. 受療状況	有訴者の状況 有病率、罹患率、受療率 外来受診の状況 入院期間
2. 健康に影響する要因	A. 生活行動・習慣	食事と栄養 排泄 活動と運動、レクリエーション 休息と睡眠 清潔と衣生活 ライフスタイル ストレス 喫煙、嗜好品
	B. 生活環境	水質、大気、土壌 食品衛生 住環境
	C. 社会環境	職業と健康障害 労働環境 ワーク・ライフ・バランス
3. 看護で活用する社会保障	A. 医療保険制度の基本保障	医療保険の種類 国民医療費 高齢者医療制度 給付の内容

必修問題

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	B. 介護保険制度の基本	保険者 被保険者 給付の内容 要介護・要支援の認定 地域支援事業
4. 看護における倫理	A. 基本的人権の擁護	個人の尊厳 患者の権利 自己決定権と患者の意思 インフォームド・コンセント ノーマライゼーション 情報管理（個人情報保護）
	B. 倫理原則	自律尊重 善行 公正、正義 誠実、忠誠 無危害
	C. 看護師等の役割	説明責任＜アカウンタビリティ＞ 倫理的配慮 権利擁護＜アドボカシー＞
5. 看護に関わる基本的法律	A. 保健師助産師看護師法	保健師・助産師・看護師の定義 保健師・助産師・看護師の業務 保健師・助産師・看護師の義務（守秘義務、業務従事者届出の義務、臨床研修等を受ける努力義務） 養成制度
	B. 看護師等の人材確保の促進に関する法律	目的、基本方針 ナースセンター

必修問題

目標Ⅱ．看護の対象および看護活動の場と看護の機能について基本的な知識を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
6. 人間の特性	A. 人間と欲求	基本的欲求 社会的欲求
	B. 対象の特性	QOL 健康や疾病に対する意識 疾病・障害・死の受容
7. 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	A. 胎児期	形態的発達と異常
	B. 新生児・乳児期	発達の原則 身体の発育 運動能力の発達 栄養 親子関係
	C. 幼児期	身体の発育 運動能力の発達 言語の発達 社会性の発達 基本的生活習慣の確立
	D. 学童期	運動能力の発達、体力の特徴 社会性の発達 学習に基づく行動
	E. 思春期	第二次性徴 アイデンティティの確立 親からの自立 異性への関心
	F. 成人期	社会的責任と役割 生殖機能の成熟と衰退 基礎代謝の変化
	G. 老年期	身体的機能の変化 認知能力の変化 心理社会的変化
8. 看護の対象としての患者と家族	A. 家族の機能	家族関係 家族構成員 疾病が患者・家族に与える心理・社会的影響
	B. 家族形態の変化	家族の多様性 構成員の変化

必修問題

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
9. 主な看護活動の場と看護の機能	A. 看護活動の場と機能・役割	病院、診療所 助産所 訪問看護ステーション 介護保険施設 地域包括支援センター 市町村、保健所 学校 企業 チーム医療 退院調整

必修問題

目標Ⅲ. 看護に必要な人体の構造と機能および健康障害と回復について基本的な知識を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
10. 人体の構造と機能	A. 人体の基本的な構造と正常な機能	内部環境の恒常性 神経系 運動系 感覚器系 循環器系 血液、体液 免疫系 呼吸器系 消化器系 栄養と代謝系 泌尿器系 体温調節 内分泌系 性と生殖器系 妊娠・分娩・産褥の経過 遺伝
	B. 人間の死	死の三徴候 死亡判定 脳死

必修問題

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
11. 徴候と疾患	A. 主要な症状と徴候	意識障害 嚥下障害 言語障害 ショック 高体温、低体温 脱水 黄疸 頭痛 咳嗽、喀痰 吐血、喀血 チアノーゼ 呼吸困難 胸痛 不整脈 腹痛、腹部膨満 悪心、嘔吐 下痢 便秘 下血 乏尿、無尿、頻尿、多尿 浮腫 貧血 睡眠障害 感覚過敏・鈍麻 運動麻痺 けいれん
	B. 主要な疾患による健康障害	生活習慣病 がん 感染症 精神疾患 小児の疾患 高齢者の疾患
	C. 基本的な臨床検査値の評価	血液学検査 血液生化学検査 免疫血清学検査 尿検査

必修問題

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
12. 薬物の作用とその管理	A. 主な薬物の効果と副作用 (有害事象)	抗感染症薬 抗がん薬 強心薬、抗不整脈薬 狭心症治療薬 抗血栓薬 降圧薬、昇圧薬 利尿薬 消化性潰瘍治療薬 下剤、止痢薬 抗アレルギー薬 免疫療法薬 副腎皮質ステロイド薬 糖尿病治療薬 中枢神経作用薬 麻薬 消炎鎮痛薬
	B. 薬物の管理	禁忌 保存・管理方法 薬理効果に影響する要因

必修問題

目標Ⅳ. 看護技術に関する基本的な知識を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
13. 看護における基本技術	A. コミュニケーション	言語的コミュニケーション 非言語的コミュニケーション 面接技法
	B. 看護過程	情報収集、アセスメント 計画立案 実施 評価
	C. フィジカルアセスメント	バイタルサインの観察 意識レベルの評価 呼吸状態の観察 腸蠕動音聴取 運動機能の観察
14. 日常生活援助技術	A. 食事	食事の環境整備、食事介助 誤嚥の予防
	B. 排泄	排泄の援助（床上、トイレ、ポータブルトイレ、おむつ） 導尿 浣腸 摘便 失禁のケア
	C. 活動と休息	体位、体位変換 移動、移送 ボディメカニクス 廃用症候群の予防 睡眠
	D. 清潔	入浴、シャワー浴 清拭 口腔ケア 洗髪 手浴、足浴 陰部洗浄 整容 寝衣交換

必修問題

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
15. 患者の安全・安楽を守る看護技術	A. 療養環境	病室環境 共有スペース 居住スペース
	B. 医療安全対策	転倒・転落の防止 誤薬の防止 患者誤認の防止 誤嚥・窒息の防止 コミュニケーションエラーの防止
	C. 感染防止対策	標準予防策<スタンダードプリコーション> 感染経路別予防策 手指衛生 必要な防護用具(手袋、マスク、ガウン、ゴーグル)の選択・着脱 無菌操作 滅菌と消毒 針刺し・切創の防止 感染性廃棄物の取り扱い
16. 診療に伴う看護技術	A. 栄養法	経管・経腸栄養法 経静脈栄養法
	B. 薬物療法	与薬方法 薬効・副作用(有害事象)の観察
	C. 輸液・輸血管理	刺入部位の観察 点滴静脈内注射 輸血
	D. 採血	刺入部位 採血方法 採血後の観察内容、採血に関連する有害事象
	E. 呼吸管理	酸素療法の原則 酸素ボンベ 酸素流量計 鼻腔カニューラ 酸素マスク ネブライザー 口腔内・鼻腔内吸引 気管内吸引 体位ドレナージ

必修問題

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	F. 救命救急処置	気道の確保 人工呼吸 胸骨圧迫 直流除細動器 自動体外式除細動器<AED> 止血法 トリアージ
	G. 皮膚・創傷の管理	創傷管理 褥瘡の予防・処置

人体の構造と機能

【人体の構造と機能】

目標Ⅰ. 正常な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。
 目標Ⅱ. フィジカルアセスメントおよび日常生活の営みを支える看護に必要な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。
 目標Ⅲ. 疾病の成り立ちとの関連において、人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 細胞と組織	A. 細胞の構造	細胞膜と細胞質 核 細胞小器官と細胞骨格
	B. 遺伝子と遺伝情報	ゲノムと遺伝子 タンパク合成
	C. 細胞分裂	染色体の複製と有糸分裂 減数分裂
	D. 組織	上皮組織 支持組織 筋組織 神経組織
	E. 細胞内情報伝達	イオンチャネル型受容体 代謝調節型受容体 細胞内受容体、核内受容体
2. 生体リズムと内部環境の恒常性	A. 生体リズム	概日リズム<サーカディアンリズム> 体内時計
	B. 内部環境の恒常性維持機構	細胞外液 体温
3. 神経系	A. 神経細胞と神経組織	神経細胞<ニューロン>と情報伝達 神経膠細胞
	B. 中枢神経系の構造と機能	大脳 視床、視床下部 中脳、橋、延髄 小脳 脊髄 反射 髄膜と脳室 脳脊髄液の循環 感覚と運動の伝導路 覚醒と睡眠

人体の構造と機能

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	C. 末梢神経系の構造と機能	脳神経 脊髄神経 体性神経 自律神経
4. 運動器系	A. 骨と骨格	骨の構造と機能 軟骨の構造 全身の骨
	B. 関節の構造と機能	関節の構造と動き 全身の関節
	C. 骨格筋の構造と機能	骨格筋の構造 筋収縮の機構 全身の骨格筋
5. 感覚器系	A. 体性感覚	刺激と感覚受容 表在感覚 深部感覚
	B. 視覚	眼球と眼球付属器の構造 視力と視野 明暗覚、色覚 視覚の伝導路 眼球運動 眼の反射と調節機能
	C. 聴覚	外耳・中耳・内耳の構造 音の伝播 聴力
	D. 平衡感覚	平衡器官の構造 平衡覚とその伝導路
	E. 味覚	味蕾の構造と機能 味覚の伝導路
	F. 嗅覚	嗅上皮 嗅覚の伝導路
	G. 内臓感覚	内臓感覚の受容器と機能
6. 循環器系	A. 心臓の構造と機能	心臓の構造 刺激伝導系 心周期 心機能の調節

人体の構造と機能

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	B. 血管系の構造と機能	動脈、静脈、毛細血管 血圧と血圧調節 門脈系 肺循環と体循環 冠循環 脳循環 胎児・胎盤の血液循環 末梢循環の調節
	C. リンパ系の構造と機能	リンパ液、リンパ管、リンパ節 胸管
7. 血液	A. 血液の成分と機能	血液の成分（血球、血漿、血清） 赤血球の働き 血液の物理化学的特性 造血と造血因子
	B. 止血機構	血液凝固 線維素溶解
	C. 血液型	ABO式、Rh式
8. 体液	A. 体液の構成	体液の区分 体液の組成
	B. 体液の調節	電解質バランス 酸塩基平衡 浸透圧調節
9. 生体の防御機構	A. 非特異的生体防御機構	皮膚の構造と防御機構 粘膜の構造と防御機構 食細胞とサイトカイン
	B. 特異的生体防御反応（免疫系）	免疫系の細胞 胸腺、脾臓、リンパ組織 抗原と抗体 補体 液性免疫 細胞性免疫 アレルギー反応 組織適合性抗原<HLA>
10. 呼吸器系	A. 気道の構造と機能	鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支 発声
	B. 肺の構造	肺 胸膜

人体の構造と機能

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	C. 縦隔	縦隔の区分 縦隔に含まれる器官
	D. 呼吸	呼吸筋 換気 ガス交換 呼吸運動 呼吸調節
11. 消化器系	A. 咀嚼・嚥下	歯・口腔・唾液腺の構造と機能 咽頭・喉頭の構造と機能 食道の構造と機能 咀嚼 嚥下
	B. 消化と吸収	胃の構造と機能 小腸の構造と機能 大腸の構造と機能 排便反射 肝臓・胆道の構造と機能 膵臓の構造と機能 三大栄養素の消化と吸収 消化管運動と反射 消化管ホルモン
12. 代謝系	A. 栄養とエネルギー代謝	栄養所要量 基礎代謝
	B. 物質代謝	同化作用と異化作用 酵素 栄養素の代謝 ビリルビンの代謝 核酸の代謝
13. 泌尿器系	A. 尿の生成	腎臓の構造 糸球体濾過 尿細管における再吸収と分泌
	B. 体液量の調節	抗利尿ホルモンの作用 レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系
	C. 排尿	尿管と膀胱の構造と機能 尿道の構造と機能 排尿反射

人体の構造と機能

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
14. 体温調節	A. 体温	核心温度と外殻温度
	B. 体温の調節	熱放散と熱産生 体温調節中枢
15. 内分泌系	A. ホルモンの種類	ホルモンの化学的性質 ホルモンの受容体
	B. ホルモン分泌の調節	フィードバック機構
	C. 内分泌器官の構造とホルモンの機能	視床下部 下垂体 松果体 甲状腺 副甲状腺<上皮小体> 膵島 副腎皮質 副腎髄質 腎臓 性腺
16. 生殖器系	A. 女性の生殖器系の構造と機能	卵巣 卵管、子宮、膣 外陰部・会陰の構造 性周期 妊娠、分娩、産褥 妊娠・分娩に伴う変化 乳房
	B. 男性の生殖器系の構造と機能	精巣と精路 精子の形成 精巣上体、精管、精囊、前立腺、陰茎
	C. 受精と発生	受精 着床 初期発生と器官形成 胎児の発生
17. 成長	A. 成長による変化	成長による組織・臓器の形態的变化 成長による臓器の機能的変化

疾病の成り立ちと回復の促進

【疾病の成り立ちと回復の促進】

目標 I. 健康から疾病を経て回復に至る過程について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 健康の維持増進	A. 疾病の予防・早期発見	健康診断、健康診査、がん検診 予防接種 健康教育
2. 疾病の成立と疾病からの回復	A. 疾病の要因	内因（宿主要因）、外因（環境要因） 生活習慣 ストレス
	B. 回復過程	神経内分泌の反応 免疫系の反応 代謝系の反応 回復に影響する身体・心理・社会的要因

疾病の成り立ちと回復の促進

目標Ⅱ．疾病の要因と生体反応について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
3. 基本的な病因とその成り立ち	A. 細胞の障害	萎縮、変性、肥大 壊死<ネクロシス>とアポトーシス 創傷と治癒
	B. 生体の障害	呼吸障害 循環障害、臓器不全 炎症、損傷 免疫異常、アレルギー 内分泌・代謝異常 廃用症候群 老年症候群 遺伝子異常、先天異常 腫瘍 中毒、放射性障害
	C. 人と病原体の関わり	感染源と感染経路 ウイルス 細菌 真菌 薬剤耐性<AMR> (多剤耐性菌)

と疾病の成り立ち回復の促進

疾病の成り立ちと回復の促進

目標Ⅲ. 疾病に対する診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
4. 疾病に対する医療	A. 診断の基本と方法	医療面接（問診）、身体診察（視診、触診、聴診、打診） 検体検査 生体機能検査 画像検査 内視鏡検査 心理・精神機能検査
	B. 薬物の特性	与薬方法 薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄） 薬理作用と副作用（有害事象）
	C. 治療方法	手術療法（麻酔を含む） 化学療法 放射線治療 輸血 リハビリテーション、運動療法 食事療法 臓器移植、再生医療 人工臓器・透析 精神療法
	D. 医療による健康被害	薬害 ウイルス性肝炎 院内感染

と疾病の成り立ち
回復の促進

疾病の成り立ちと回復の促進

目標IV. 各疾患の病態と診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
5. 呼吸機能	A. 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	炎症性疾患（気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎） 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患＜COPD＞ 肺循環障害（肺高血圧、肺塞栓症） 肺結核 気胸 腫瘍（肺癌、中皮腫）
6. 循環機能	A. 心臓の疾患の病態と診断・治療	先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、Fallot＜ファロー＞四徴症） 虚血性心疾患（狭心症、急性冠症候群） 心筋症（肥大型心筋症、拡張型心筋症） 心不全（急性心不全、慢性心不全） 心タンポナーデ 不整脈（上室性頻脈性不整脈、心室性頻脈性不整脈、徐脈性不整脈） 炎症性疾患（感染性心内膜炎、心筋炎、収縮性心膜炎） 弁膜症（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患）
	B. 血管系の疾患の病態と診断・治療	大動脈瘤、大動脈解離 閉塞性動脈硬化症、Buerger＜バージャー＞病、高安動脈炎 挫滅＜圧挫＞症候群＜crush syndrome＞ 下肢静脈瘤、深部静脈血栓症
	C. 血圧異常の病態と診断・治療	動脈硬化症 本態性高血圧 二次性高血圧 起立性低血圧 迷走神経反射
	D. ショックの病態と診断・治療	心原性ショック 出血性ショック 血流分布異常性ショック 心外閉塞・拘束性ショック
7. 栄養の摂取・消化・吸収・代謝機能	A. 口腔、咽頭の疾患の病態と診断・治療	炎症性疾患（咽頭炎、扁桃炎） う歯、歯周病 腫瘍（舌癌、咽頭癌）

と疾病の成り立ち回復の促進

疾病の成り立ちと回復の促進

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	B. 上部消化管の疾患の病態と診断・治療	炎症性疾患（逆流性食道炎、急性胃炎、慢性胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症） 潰瘍性疾患（胃潰瘍、十二指腸潰瘍） 腫瘍（食道癌、胃癌） 食道静脈瘤
	C. 下部消化管の疾患の病態と診断・治療	炎症性疾患（潰瘍性大腸炎、Crohn<クローン>病、虫垂炎、痔瘻） イレウス 腫瘍（大腸ポリープ、結腸癌、直腸癌） 慢性便秘症
	D. 肝臓・胆・膵臓の疾患の病態と診断・治療	炎症性疾患（肝炎、胆管炎、胆嚢炎、膵炎） 肝硬変 腫瘍（肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵癌） 脂肪肝、アルコール性肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎 胆石症
	E. 腹壁・腹膜・横隔膜の疾患の病態と診断・治療	鼠径ヘルニア 腹膜炎 横隔膜ヘルニア 腹壁癒痕ヘルニア
8. 内部環境調節機能	A. 内分泌系の疾患の病態と診断・治療	間脳・下垂体疾患 甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎） 副甲状腺<上皮小体>疾患 副腎皮質・髄質疾患 腫瘍（下垂体腫瘍、甲状腺癌）
	B. 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	メタボリックシンドローム、肥満症 糖尿病 脂質異常症 高尿酸血症、痛風 ビタミン欠乏症
	C. 体液調節の疾患の病態と診断・治療	水・電解質の異常（脱水、浮腫、低ナトリウム血症、高カリウム血症） 酸塩基平衡の異常（アシドーシス、アルカローシス）

と疾病の成り立ち
回復の促進

疾病の成り立ちと回復の促進

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
9. 造血機能	A. 血液・造血器の疾患の病態と診断・治療	貧血（鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、骨髄異形成症候群、二次性貧血） 白血球減少症 出血性疾患（血栓性血小板減少性紫斑病＜TTP＞、免疫性血小板減少性紫斑病＜ITP＞、播種性血管内凝固＜DIC＞） 腫瘍（白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）
10. 全身の感染性疾患	A. 感染性疾患の病態と診断・治療	ウイルスによる感染症（インフルエンザ、流行性耳下腺炎＜ムンプス＞、麻疹、風疹、エボラ出血熱、コロナウイルス感染症、ヒト免疫不全ウイルス＜HIV＞感染症） 細菌による感染症（結核、コレラ、破傷風、梅毒） 敗血症
11. 免疫機能	A. 自己免疫疾患の病態と診断・治療	全身性エリテマトーデス＜SLE＞ 関節リウマチ Sjögren＜シェーグレン＞症候群 全身性強皮症 皮膚筋炎、多発性筋炎 Behçet＜ベーチェット＞病
	B. アレルギー性疾患の病態と診断・治療	花粉症（アレルギー性鼻炎） 蕁麻疹 接触皮膚炎 アナフィラキシーショック
12. 神経機能	A. 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	脳血管障害（脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、もやもや病） 頭蓋内圧亢進症 変性疾患（Parkinson＜パーキンソン＞病、筋萎縮性側索硬化症＜ALS＞） 脱髄疾患（多発性硬化症） 認知症（Alzheimer＜アルツハイマー＞病、血管性認知症、Lewy＜レビー＞小体型認知症、前頭側頭型認知症） 感染性疾患（脳炎、髄膜炎） 頭部外傷 脊髄損傷 機能性疾患（てんかん） 腫瘍（脳腫瘍）
	B. 末梢神経系の疾患の病態と診断・治療	Guillain-Barré＜ギラン・バレー＞症候群 顔面神経麻痺（Bell＜ベル＞麻痺） 自律神経失調症

疾病の成り立ちと回復の促進

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	C. 感覚器系の疾患の病態と診断・治療	視覚障害（白内障、緑内障、網膜剥離、網膜症） 聴覚障害（難聴、Ménière<メニエール>病） 嗅覚・味覚障害
13. 皮膚機能	A. 皮膚の疾患の病態と診断・治療	湿疹、皮膚炎（アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、光線過敏症<慢性光線性皮膚炎>） 蕁麻疹、薬疹 感染性疾患（带状疱疹、蜂窩織炎、白癬、カンジダ症、疥癬） 腫瘍（色素性母斑、ケロイド、有棘細胞癌、基底細胞癌、悪性黒色腫） 鶏眼<うおのめ>、胼胝<たこ>
14. 運動機能	A. 運動器系の疾患の病態と診断・治療	骨折、脱臼、捻挫 骨粗鬆症 腫瘍（骨肉腫、軟部組織腫瘍） 変形性関節症 腰痛症（椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症） 炎症性疾患（骨炎、骨髓炎、関節炎） 筋ジストロフィー 重症筋無力症
15. 排泄機能	A. 泌尿器系の疾患の病態と診断・治療	腎炎、慢性腎臓病 炎症性疾患（腎盂腎炎、膀胱炎） 腫瘍（腎癌、尿管癌、膀胱癌） 腎・尿路結石 排尿障害（過活動膀胱、腹圧性尿失禁、夜尿症） 腎不全
16. 生殖機能	A. 生殖器系の疾患の病態と診断・治療	女性生殖器の疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫） 乳腺の疾患（乳腺炎、乳腺症） 男性生殖器の疾患（前立腺炎、前立腺肥大） 腫瘍（乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌） 生殖機能障害（月経異常、更年期障害）

疾病の成り立ちと回復の促進

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
17. 精神機能	A. 精神・心身の疾患の病態と診断・治療	<p>せん妄</p> <p>精神作用物質（アルコール、薬物）使用による精神・行動の障害</p> <p>統合失調症</p> <p>気分＜感情＞障害（うつ病、双極性感情障害）</p> <p>神経症性障害、ストレス関連障害（パニック障害、心的外傷後ストレス障害＜PTSD＞、適応障害）</p> <p>生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群（摂食障害、非器質性睡眠障害）</p>

健康支援と社会保障制度

【健康支援と社会保障制度】

目標 I. 社会生活を視点とした個人・家族・集団の機能や変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 社会・家族機能と生活基盤の変化	A. 生活単位の変化	人口構造 家族、世帯
	B. 家族機能の変化	出生、死亡 夫婦、子ども 育児、介護 家事 婚姻、離婚
	C. ライフスタイルの変化	雇用形態 女性の労働 少子化、晩婚化、晩産化
2. 社会の中の集団	A. 地域や職場における機能	ソーシャルサポートネットワーク フォーマルサポート、インフォーマルサポート 地域活動への参加 地域集団<コミュニティ・グループ>
	B. 労働と健康	労働安全衛生法 労働基準法 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律<育児・介護休業法> 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律<男女雇用機会均等法> 就業構造 労働時間

健康支援と社会保障制度

目標Ⅱ．社会保障の理念、社会保険制度および社会福祉に関する法や施策について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
3. 社会保障制度の基本	A. 社会保障の理念	目的と機能 日本国憲法第25条 ノーマライゼーション
	B. 社会保障制度	社会保障給付費 社会保障制度の変遷 地域包括ケアシステム
4. 社会保険制度の基本	A. 社会保険の理念	目的と機能 国民皆保険
	B. 医療保険制度	目的と機能 健康保険法 高齢者医療制度（高齢者の医療の確保に関する法律 <高齢者医療確保法>） 被用者保険、国民健康保険 公費医療制度
	C. 介護保険制度	基本理念 介護保険法 保険者、被保険者 要介護認定と給付の仕組み 地域包括支援センター 介護予防・日常生活支援総合事業
	D. 年金制度	制度の体系 国民皆年金
	E. その他の関係法規	雇用保険法 労働者災害補償保険法
5. 社会福祉の基本	A. 社会福祉制度	目的と機能 社会福祉法
	B. 社会福祉に関わる機関	目的と機能 福祉事務所 児童相談所 更生相談所 社会福祉施設
	C. 社会福祉における民間活動	民生委員、児童委員 社会福祉協議会 ボランティア活動

健康支援と社会保障制度

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	D. 生活保護に関する制度	生活保護法 扶助の種類と内容
	E. 障害者（児）に関する制度	障害者基本法 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律<障害者総合支援法> 身体障害者福祉法 知的障害者福祉法 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法> 発達障害者支援法 障害者の雇用の促進等に関する法律<障害者雇用促進法> 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律<障害者差別解消法> 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律<障害者虐待防止法>
	F. 児童に関する制度	児童福祉法 児童虐待の防止等に関する法律<児童虐待防止法> 母子及び父子並びに寡婦福祉法 次世代育成支援、少子化対策
	G. 高齢者に関する制度	老人福祉法 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律<高齢者虐待防止法>
	H. その他の制度	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律<DV防止法> アルコール健康障害対策基本法 ギャンブル等依存症対策基本法 その他の依存症（薬物依存を含む）の対策

健康支援と
社会保障制度

健康支援と社会保障制度

目標Ⅲ. 公衆衛生の基本、保健活動の基盤となる法や施策および生活者の健康増進について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
6. 健康と公衆衛生	A. 公衆衛生の理念	目的と機能 地域保健法 ヘルスプロモーション 一次予防、二次予防、三次予防
	B. 公衆衛生の実施機関	保健所 市区町村保健センター
	C. 疫学的方法に基づく公衆衛生	健康被害と母集団 疫学的因果関係の推定 臨床疫学とエビデンス
	D. 健康に関する指標に基づく公衆衛生	国勢調査 人口静態 人口動態 出生 死亡（死産、周産期死亡、乳児死亡を含む）、死因 平均余命、平均寿命 健康寿命 受療状況、有病率、罹患率
7. 公衆衛生における感染症と対策	A. 感染症の基本	感染症の成立と予防 予防接種 院内感染と予防 感染制御 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉
	B. 主要な感染症と動向	結核 新興感染症 再興感染症 薬剤耐性菌感染症 人獣共通感染症 ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症、後天性免疫不全症候群〈AIDS〉

健康支援と社会保障制度

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
8. 公衆衛生における生活環境への対策	A. 地球環境	地球温暖化 アスベスト 放射性物質 水質汚染 大気汚染 土壌汚染
	B. 食品および食の安全	食品衛生法 食中毒の種類と予防 健康食品、特別用途食品
	C. ごみ・廃棄物	一般廃棄物と産業廃棄物 感染性廃棄物
9. 保健活動の基盤と制度	A. 地域保健	地域保健法 健康増進法 健康日本21
	B. 母子保健	母子保健法 健やか親子21 (第2次) 母子健康手帳 保健指導、訪問指導 健康診査、健康教育 母体保護法
	C. 精神保健	精神保健医療福祉の施策 精神障害者(児)の医療と福祉 こころの健康対策、自殺対策 発達障害に関する医療と福祉 自殺対策基本法
	D. 学校保健	学校保健安全法 健康診断、健康相談 感染症対応 学校環境衛生
	E. その他の保健活動の基盤となる法や施策	がん対策基本法 難病の患者に対する医療等に関する法律<難病法>

健康支援と
社会保障制度と

健康支援と社会保障制度

大 項 目	中 項 目 (出題範囲)	小 項 目 (キーワード)
10. 生活者の健康増進	A. 生活習慣病の予防	主な生活習慣病の現状 栄養、運動、休息 喫煙・飲酒対策 健康教育と早期発見 循環器疾患の予防 糖尿病の予防 特定健康診査、特定保健指導
	B. 職場の健康管理	労働安全衛生法 業務上疾病の予防 労働衛生 3 管理（作業管理、作業環境管理、健康管理） 仕事と家庭の両立支援（ワーク・ライフ・バランス）

健康支援と社会保障制度

目標Ⅳ. 人々の健康を支える職種に関する法や施策およびサービス提供体制について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
11. 人々の健康を支える 職種やサービス提供 体制に関する法や施 策	A. 看護職に関する法	保健師助産師看護師法 看護師等の人材確保の促進に関する法律
	B. 医療や社会福祉の関連職 に関する法	医師法 歯科医師法 薬剤師法 診療放射線技師法 臨床検査技師等に関する法律 理学療法士及び作業療法士法 言語聴覚士法、視能訓練士法 社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法 栄養士法 歯科衛生士法 救急救命士法
	C. サービスの提供体制	医療法 医療提供施設（病院、診療所、助産所、介護医療院、 介護老人保健施設等）の機能 訪問看護ステーション 救急医療 在宅医療
	D. その他の役割	診療記録と情報公開 安全管理<セーフティマネジメント> 医薬品と医療機器の取り扱い

基礎看護学

【基礎看護学】

目標 I. 看護の概念及び展開について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 看護の基本となる概念	A. 看護の本質	看護の定義 役割と機能 看護の変遷
	B. 看護の対象	全体<whole>としての人間 成長・発達する存在 ニーズをもつ存在 生活を営む存在 適応する存在 社会・文化的存在 ライフサイクルと発達課題
	C. 健康と生活	健康のとらえ方 健康のレベル 健康への影響要因 生活習慣とセルフケア QOLの維持と向上 生活の場
	D. 看護における倫理	基本的人権、世界人権宣言、個人の尊厳 倫理原則、職業倫理 患者の権利と擁護 倫理的葛藤と対応
2. 看護の展開	A. 対象との関係の形成	信頼関係 援助関係
	B. 基盤となる思考過程	根拠に基づいた看護<EBN> クリティカル・シンキング 問題解決過程
	C. 看護における連携と協働	看護職間の連携と協働 多職種間の連携と協働 チームでの活動

基礎看護学

目標Ⅱ．基礎的な看護技術と適用のための判断プロセスについて基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
3. 看護における基本技術	A. コミュニケーション	コミュニケーションの目的と構成要素 コミュニケーションの基本的な技法 コミュニケーションに障害のある人々への対応
	B. 学習支援	学習に関わる諸理論 学習支援の方法と媒体 学習支援プロセス
	C. 看護過程	情報収集 アセスメント 計画 実施 評価
	D. 看護業務に関する情報	看護業務に関する情報の種類 看護業務に関する情報の記録・報告・共有
	E. フィジカルアセスメント	看護におけるフィジカルアセスメントの意義 問診の基本 身体診察（視診、触診、聴診、打診）の基本 全身の診察（全身の観察、バイタルサイン） 系統別のフィジカルアセスメント
	F. 感染防止対策	感染の成立と予防 標準予防策<スタンダードプリコーション>と感染経路別予防策 手洗い、消毒、滅菌法、無菌操作 感染性廃棄物の取り扱い 感染拡大の防止の対応
	G. 安全管理<セーフティマネジメント>	医療安全の概念 誤薬の予防と対策 転倒・転落の予防と対策 チューブ・ライントラブルの予防と対策 針刺しの予防と対策
	H. 安楽の確保	安楽の概念 ボディメカニクスの原理と看護実践への活用 安楽な姿勢・体位の保持 安楽を提供するためのケア 安楽を保つための療養環境の調整

基礎看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	I. 終末期のケア	終末期の患者のケア 終末期の家族のケア 死亡後のケア
4. 日常生活援助技術	A. 環境	療養環境のアセスメント 療養環境の調整と整備
	B. 食事と栄養	健康な食生活と食事摂取基準 治療食、療養食 食事と栄養に影響する要因 食事と栄養のアセスメント 食事摂取の自立困難な人への援助 嚥下障害のある人への援助 経管・経腸栄養法 経静脈栄養法
	C. 排泄	排泄に影響する要因 排泄のアセスメント 自然な排泄を促す援助 トイレ・ポータブルトイレでの排泄の援助 床上での排泄の援助 自然な排泄が困難な人への援助 尿失禁・便失禁のある人への援助
	D. 活動と運動	活動と運動に影響する要因 活動と運動のアセスメント 活動と運動を促す援助
	E. 休息と睡眠	休息と睡眠に影響する要因 休息と睡眠のアセスメント 休息と睡眠を促す援助
	F. 清潔と衣生活	清潔と衣生活に影響する要因 清潔と衣生活のアセスメント 清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助
5. 診療に伴う看護技術	A. 呼吸、循環、体温調整	呼吸・循環・体温調整のアセスメント 呼吸を楽にする姿勢と呼吸法 血圧・血流を保持する姿勢 酸素吸入の適応と方法 口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法 排痰法の適応と方法 体温調整のための方法

基礎看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	B. 皮膚・創傷管理	創傷の治癒過程 創傷のアセスメント 洗浄、保護、包帯法 褥瘡の予防と治癒の促進
	C. 与薬	与薬における看護師の役割 薬剤の種類と取り扱い方法 与薬方法と効果の観察 与薬の副作用（有害事象）の観察
	D. 輸液・輸血管理	輸液・輸血の種類と取り扱い方法 輸液・輸血の管理方法 輸液・輸血の副作用（有害事象）の観察
	E. 救命救急処置	生命の危機的状況のアセスメント 一次救命処置<BLS> 止血法
	F. 生体機能のモニタリング	診察・検査時の看護師の役割 検体検査（血液、尿、便、喀痰、胸水、腹水、髄液） 生体検査（エックス線撮影、超音波、CT、MRI、心電図、内視鏡、核医学） 経皮的動脈血酸素飽和度<SpO ₂ >の測定、血糖測定 モニタリング機器の取り扱い

基礎看護学

目標Ⅲ. 保健・医療・福祉の中で看護の果たす役割について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
6. 看護の役割と機能	A. 看護の場に応じた活動	在宅における看護活動 医療施設における看護活動 保健施設と福祉施設における看護活動
	B. 保健・医療・福祉の連携 と継続看護	保健・医療・福祉のチームにおける看護職の役割と 機能 保健・医療・福祉の連携を支える仕組み 施設内・施設間における継続看護

成人看護学

【成人看護学】

目標 I. 成人各期の健康保持・増進や疾病の予防について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 成人の特徴と生活	A. 成人期の発達の特徴	身体的・心理的・社会的な特徴 発達課題の特徴
	B. 成人の生活	家族形態の変化、家族機能 ライフスタイルの特徴
	C. 成人を取り巻く環境	社会状況の変化 産業構造・労働環境の変化
2. 成人における健康の保持・増進や疾病の予防	A. 生活習慣に関連する健康課題	生活習慣病の要因 健康問題の現状と推移 健康行動、保健行動
	B. 職業に関連する健康課題	就労条件・環境と疾病との関係 職業性疾患、作業関連疾患
	C. ストレスに関連する健康課題	ストレスと健康 ストレスと対処法

成人看護学

目標Ⅱ．急性期にある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
3. 急性期にある患者と家族の看護	A. 急性期にある患者と家族の特徴	身体的特徴 心理的特徴 社会的特徴
	B. 急性期における看護の基本	危機的状態への支援 治療の緊急度と優先度、治療選択・意思決定への支援 代理意思決定支援
4. 救急看護、クリティカルケア	A. 緊急度と重症度のアセスメント	意識レベル、神経学的所見、全身状態 バイタルサイン
	B. 救急看護・クリティカルケアの基本	心肺停止状態への対応 ショックへの対応 急性症状の応急処置 外傷・熱傷・中毒の応急処置 熱中症・低体温症への応急処置 感染症への対応
5. 周術期にある患者と家族の看護	A. 術前の看護	手術療法の理解を促す援助 手術の意思決定への援助 術後合併症のリスクアセスメントと援助 術前オリエンテーション 不安のアセスメントと援助 ボディイメージ<身体像>の変容への援助
	B. 術中の看護	手術方法による影響と援助 手術体位による影響と援助 麻酔による影響と援助 安全管理<セーフティマネジメント> (患者確認、ガーゼ遺残の防止)
	C. 術後の看護	侵襲に対する生体反応 術後の鎮痛・鎮静管理 創傷管理・処置 ドレーン管理・処置

成人看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	D. 術後合併症と予防	術後出血 深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症 呼吸器合併症 感染症 廃用症候群 消化器合併症
	E. 術後の機能障害や生活制限への看護	ボディイメージ<身体像>の受容への支援 退院調整 機能訓練 セルフケア能力の獲得

成人看護学

目標Ⅲ. 慢性疾患がある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
6. 慢性疾患がある患者と家族の看護	A. 慢性疾患がある患者と家族の特徴	慢性疾患の特徴、慢性疾患の動向 慢性疾患とともに生きる患者と家族の特徴
	B. 慢性疾患の治療と看護の基本	治療選択・意思決定への支援 症状のマネジメント 治療や療養の継続的な支援と連携
	C. セルフケア・自己管理を促進する看護	セルフケア能力とセルフケア行動のアセスメント、アドヒアランスに影響する要因のアセスメント 自己管理支援、セルフケア支援 自己効力感、エンパワメント
	D. 社会的支援の獲得への援助	患者と家族の相互作用と関係性 退院支援、退院調整 多職種連携 セルフヘルプグループ・サポートグループ・家族会の活用と支援 医療費助成制度の活用

成人看護学

目標IV. リハビリテーションの特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
7. リハビリテーションの特徴と看護	A. リハビリテーションの特徴	リハビリテーションの定義 リハビリテーションにおける看護の役割 機能障害と分類
	B. 機能障害のアセスメント	生活機能障害と日常生活動作<ADL> 居住環境
	C. 障害に対する受容と適応への看護	廃用症候群の予防 日常生活動作<ADL>・活動範囲の拡大に向けた援助 補助具・自助具の活用 心理的葛藤への援助
	D. チームアプローチと社会資源の活用	多職種連携 社会資源の活用
	E. 患者の社会参加への支援	就労条件・環境の調整 社会参加を促す要素と阻害要因

成人看護学

目標Ⅴ. がん患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
8. がん患者と家族への看護	A. がん患者の抱える苦痛	転移・浸潤に伴う身体的苦痛、身体症状に伴う活動制限 がんの診断や再発・転移による心理的苦痛 社会的苦痛 スピリチュアルな苦痛
	B. がん患者の集学的治療と看護	手術療法と看護 薬物療法と看護 放射線療法と看護 造血幹細胞移植と看護 免疫療法と看護
	C. がん患者の社会参加への支援	就労継続・環境の調整 社会参加を促す要素と阻害要因 がんサバイバー、がんサバイバーシップ 社会資源の活用（ピアサポートを含む）
	D. がん患者の家族の特徴と看護	家族が直面する課題 家族への支援

成人看護学

目標VI. 終末期にある患者、および緩和ケアを必要とする患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
9. 終末期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	A. 緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	がん患者 慢性心不全患者 慢性呼吸不全患者 難病患者
	B. エンド・オブ・ライフ・ケア < end-of-life care >	症状アセスメントとマネジメント 全人的苦痛のアセスメントとマネジメント 治療中止や療養の場の移行に対する意思決定支援 予期的悲嘆に対するアセスメントとケア アドバンス・ケア・プランニング<ACP> 家族への支援
	C. 臨死期の看護	身体的特徴とケア 精神的特徴とケア 家族の悲嘆へのケア、代理意思決定支援

成人看護学

目標Ⅶ. 各機能障害のある患者の特徴および病期や障害に応じた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
10. 呼吸機能障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	酸素化障害 換気障害 呼吸運動障害 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	動脈血ガス分析、動脈血酸素飽和度 呼吸機能検査 気管支鏡検査 胸腔穿刺 肺生検 胸部エックス線検査、胸部CT検査 喀痰の吸引、喀痰細胞診、喀痰培養
	C. 治療を受ける患者の看護	酸素療法 侵襲的・非侵襲的陽圧換気 肺切除術、内視鏡的肺切除術 胸腔ドレナージ 吸入による薬物療法 薬物療法（化学療法、抗菌薬）
	D. 病期や機能障害に応じた看護	腫瘍（肺癌、悪性中皮腫） 呼吸器感染症（肺炎、気管支炎、胸膜炎、肺結核、膿胸） 慢性閉塞性肺疾患＜COPD＞、肺気腫 気管支喘息 気胸
11. 循環機能障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	ポンプ機能障害 刺激伝導障害 血管・リンパ管障害 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	心電図 心血管超音波 血管造影 心臓カテーテル

成人看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	C. 治療を受ける患者への看護	経皮的冠動脈形成術<PCI> 冠動脈バイパス術<CABG> 弁置換術、弁形成術 大動脈内バルーンパンピング<IABP> ペースメーカー 植込み型除細動器 血栓溶解療法、血栓除去術 心臓リハビリテーション カテーテル治療
	D. 病期や機能障害に応じた看護	心不全 虚血性心疾患 弁膜症 不整脈 動脈系疾患(大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症) 静脈系疾患(深部静脈血栓症、肺塞栓症) 心筋炎、心膜炎
12. 消化・吸収機能障害のある患者への看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	嚥下障害 消化管機能障害 膵液分泌障害 胆汁分泌障害 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	上部・下部消化管内視鏡検査 超音波内視鏡検査<EUS> 内視鏡的逆行性胆管膵管造影<ERCP> 消化管造影検査 画像検査(CT、MRI) 直腸診
	C. 治療を受ける患者への看護	食道切除術 胃切除術 大腸切除術 内視鏡的粘膜切除術 腹腔鏡下手術 人工肛門造設術 術後ドレナージ 胆管・胆道ドレナージ 経腸栄養法 中心静脈栄養法

成人看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	D. 病期や機能障害に応じた看護	上部消化管腫瘍（食道癌、胃癌） 下部消化管腫瘍（大腸癌、結腸癌） 人工肛門造設後 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、Crohn＜クローン＞病） 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎 胆管炎、胆石症
13. 栄養代謝機能障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	肝機能障害 代謝機能障害 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	腹部超音波検査 肝生検 腹腔鏡
	C. 治療を受ける患者への看護	肝庇護療法、栄養指導、生活習慣指導 抗ウイルス療法 内視鏡的静脈瘤結紮術＜EVL＞、内視鏡的静脈瘤硬化療法＜EIS＞ 肝動脈塞栓術 膵頭十二指腸切除術 肝切除術
	D. 病期や機能障害に応じた看護	ウイルス性肝炎 肝硬変 肝癌 膵炎、膵癌 脂質異常症、肥満、高尿酸血症
14. 内部環境（体液量、電解質、酸塩基平衡）調節機能障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	体液量調節機能障害 電解質調節機能障害 酸塩基平衡調節機能障害 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	腎機能検査（尿、血液） 腎組織検査
	C. 治療を受ける患者への看護	食事療法 急性期持続血液濾過透析 血液透析 腹膜透析＜CAPD＞ 腎移植

成人看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	D. 病期や機能障害に応じた看護	急性腎不全 慢性腎不全 慢性腎臓病 腎移植術後 腎腫瘍、腎癌
15. 内分泌機能障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	甲状腺機能障害 副腎機能障害 下垂体機能障害 血糖調節機能障害 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	ホルモン血中・尿中濃度測定 ホルモン負荷試験 糖負荷試験<OGTT> 血糖自己測定<SMBG>
	C. 治療を受ける患者への看護	甲状腺ホルモン療法 甲状腺切除術 インスリン補充療法 糖尿病経口薬による治療 食事療法、運動療法
	D. 病期や機能障害に応じた看護	甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症) 腫瘍(甲状腺癌、下垂体腫瘍) 1型糖尿病 2型糖尿病
16. 身体防御機能の障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	皮膚粘膜障害 免疫機能障害(細胞性免疫、液性免疫、補体) 骨髄機能障害(好中球減少症を含む) 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	プリックテスト、パッチテスト 皮膚粘膜生検 骨髄検査
	C. 治療を受ける患者への看護	減感作療法 免疫抑制薬(ステロイド療法を含む) 造血幹細胞移植 抗ヒト免疫不全ウイルス<HIV>療法

成人看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	D. 病期や機能障害に応じた看護	アレルギー性疾患 自己免疫疾患（膠原病を含む） 血液疾患（造血器腫瘍、貧血、骨髄腫、血小板減少症） ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症
17. 脳・神経機能障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	生命維持活動調節機能障害 運動・感覚機能障害 言語機能障害 高次脳機能障害 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	脳波検査 腰椎穿刺 脳血管造影 画像検査（CT、MRI）
	C. 治療を受ける患者への看護	開頭術 穿頭術 血管バイパス術 血管内治療 脳室ドレナージ術 脳室－腹腔<V-P>シャント術 低体温療法
	D. 病期や機能障害に応じた看護	脳血管障害 脳腫瘍 脳炎、髄膜炎 頭部外傷 脊髄損傷 筋萎縮性側索硬化症<ALS>
18. 感覚機能障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	視覚障害 聴覚障害 嗅覚障害 味覚障害 触覚障害 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	眼底検査 聴力検査 経鼻内視鏡検査 味覚検査

成人看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	C. 治療を受ける患者への看護	眼底光凝固療法 網膜剥離手術 眼内レンズ挿入術 鼓室形成術
	D. 病期や機能障害に応じた看護	中途視覚障害者 突発性難聴 Ménière<メニエール>病 喉頭癌
19. 運動機能障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	姿勢機能障害 移動機能障害 作業機能障害 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	関節可動域<ROM>検査 徒手筋力テスト<MMT> 脊髓造影、椎間板造影 神経ブロック 筋生検
	C. 治療を受ける患者への看護	ギプス固定 牽引法 人工関節置換術 内視鏡下手術
	D. 病期や機能障害に応じた看護	関節リウマチ 椎間板ヘルニア 四肢切断後 変形性膝関節症 骨折
20. 排尿機能障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	蓄尿・排尿障害 生命・生活への影響
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	尿検査（肉眼検査、試験紙法、尿比重） 尿流動態検査 残尿測定 膀胱組織検査 導尿
	C. 治療を受ける患者への看護	膀胱切除術 前立腺切除術 ホルモン療法

成人看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	D. 病期や機能障害に応じた看護	腎・尿路結石 腫瘍（膀胱癌、前立腺癌） 尿路感染症 尿失禁 前立腺肥大、前立腺炎
21. 性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護	A. 原因と障害の程度のアセスメントと看護	性・生殖機能障害（性ホルモンの異常と症状） 性ホルモン欠落症状
	B. 検査・処置を受ける患者への看護	ヒトパピローマウイルス<HPV>検査 経膈超音波検査、腹部超音波検査 乳房超音波検査 マンモグラフィ
	C. 治療を受ける患者への看護	勃起障害治療 性交障害治療 乳癌手術 女性生殖器手術 男性生殖器手術 ホルモン療法
	D. 病期や機能障害に応じた看護	女性生殖器の疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍） 男性生殖器の疾患（勃起障害） 腫瘍（乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、精巣腫瘍）

老年看護学

【老年看護学】

目標Ⅰ．加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 高齢者の理解の基本となる概念	A. 老年期の発達と変化	ライフサイクルからみた高齢者 加齢と老化 老年期の発達課題
	B. 加齢への適応	高齢者にとっての健康と自立 サクセスフルエイジング ノーマライゼーション スピリチュアリティ
	C. 高齢者のいる家族の理解	家族構成とニーズの変化 高齢者のいる家族の発達課題 家族の機能の変化
2. 高齢者の生活	A. 高齢者の機能と評価	高齢者総合機能評価<CGA> 日常生活動作<ADL> 手段的日常生活動作<IADL> 障害高齢者の日常生活自立度<寝たきり度>判定基準 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準 要介護・要支援の認定と区分 心理・情緒機能の評価
	B. その人らしい生活の継続	時代背景に関連する人生と経験の多様性、生活史 生活環境 生活習慣 生活リズム 治療・介護の必要度と生活の場 多様な生活の場とリロケーション
3. 高齢者の健康	A. 高齢者の健康と疾病	高齢者の健康の特徴 高齢者の疾病の特徴

老年看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	B. 老年期における身体機能の変化	恒常性（防衛力、予備力、適応力、回復力）の維持 機能の低下 神経系 運動器系 感覚器系 循環器系 血液・造血器系 免疫系 呼吸器系 消化器系 代謝系 泌尿器系 内分泌系 生殖器系
	C. 老年期における認知機能の変化	知能 記憶力、判断力、計算力、遂行力
	D. 老年期における心理・社会的変化と健康への影響	役割と社会活動の変化 余暇活動と生きがい 住宅環境 就労、雇用 収入、生計
4. 老年看護の基本	A. 老年看護に用いられる概念・モデル・理論	エンパワメント ストレングスモデル 国際生活機能分類<ICF>
	B. 老年看護の倫理	高齢者差別（スティグマ、エイジズム） 高齢者虐待 高齢者の権利擁護<アドボカシー> 安全確保と身体拘束
	C. 高齢者の生活を支える制度と施策	高齢者の医療の確保に関する法律<高齢者医療確保法>に基づく制度 介護保険制度 成年後見制度 日常生活自立支援事業 地域包括ケアシステム

老年看護学

目標Ⅱ. さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護についての基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
5. 高齢者の生活を支える看護	A. 高齢者のコミュニケーションの特徴と援助	高齢者のコミュニケーションの特徴 身体機能・認知機能・個性に応じたコミュニケーションの方法
	B. 高齢者の安全な活動への援助	高齢者の歩行、移動、姿勢保持の特徴 活動の縮小の影響(廃用症候群、フレイル、閉じこもり) 高齢者に多い事故(窒息、誤嚥、溺水、転倒・転落) 身体機能・認知機能に応じた安全な活動の維持・拡大の支援 身体機能・認知機能に応じた環境の整備
	C. 高齢者の食事・食生活の特徴と援助	高齢者の食事の特徴 低栄養 摂食・嚥下障害 身体機能・認知機能に応じた食事と食生活の支援
	D. 高齢者の排泄の特徴と援助	高齢者の排泄の特徴 尿失禁 便秘、下痢 身体機能・認知機能に応じた排泄の支援
	E. 高齢者の清潔と衣生活の特徴と援助	高齢者の皮膚機能の特徴 高齢者の清潔と衣生活の特徴 身体機能・認知機能に応じた清潔と衣生活の支援
	F. 高齢者の活動と休息のバランスの特徴と援助	高齢者の睡眠と生活リズムの特徴 身体機能・認知機能に応じた活動と休息の支援
	G. 高齢者における性<セクシュアリティ>	高齢者の性機能の特徴 高齢者にとっての性<セクシュアリティ>の理解と対応
6. さまざまな健康状態や受療状況に応じた高齢者の看護	A. 健康の維持・増進と介護予防	高齢者の保健行動の特徴 高齢者の健康の維持・増進 介護予防
	B. 急性期の高齢者への看護	急性期の高齢者の特徴 急性期における高齢者の看護
	C. 回復期の高齢者への看護	高齢者の疾患からの回復過程の特徴 急性期からの回復過程にある高齢者の看護
	D. 慢性期の高齢者への看護	慢性期の高齢者の特徴 疾患や障害とともに生きる高齢者の看護

老年看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	E. 終末期にある高齢者と家族への看護	高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア アドバンス・ケア・プランニング<ACP> 苦痛の緩和と安楽への援助 精神的苦痛や混乱に対する援助 家族の参加と家族への支援
	F. 検査を受ける高齢者の看護	加齢による検査結果への影響 検査を受ける高齢者への身体機能・認知機能に応じた援助
	G. 外来を受診する高齢者の看護	高齢者への医療面接、フィジカルアセスメント 疾患・治療の理解と治療継続への援助
	H. 薬物治療を受ける高齢者の看護	高齢者の薬物動態の特徴 高齢者の服薬行動の特徴 ポリファーマシー 身体機能・認知機能に応じた服薬管理支援
	I. 手術療法を受ける高齢者の看護	高齢者に起こりやすい周手術期の反応と合併症 身体機能・認知機能に応じた周手術期看護
	J. リハビリテーションを受ける高齢者の看護	リハビリテーションを受ける高齢者の特徴 身体機能・認知機能に応じたリハビリテーションにおける看護

老年看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
7. 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	※各小項目の共通の中項目 A. 高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因 B. 高齢者に特有な疾患・障害のアセスメント C. 高齢者に特有な疾患・障害の治療 D. 高齢者に特有な疾患・障害の予防と看護	脳血管疾患後遺症 慢性閉塞性肺疾患 骨粗鬆症 変形性関節症 骨折 感染症 前立腺肥大症 老人性皮膚掻痒症 気分障害 脱水症 白内障 老年期に特有のその他の疾患や症候
	E. 認知機能が低下した高齢者の看護	認知症の種類 認知症の症状 日常生活への影響 認知症の治療、非薬物療法 認知症の予防 認知症看護の基本的視点 認知症高齢者と家族の支援
8. 治療・介護を必要とする高齢者の家族の看護	A. 疾患や障害をもつ高齢者の家族への支援	看護の対象としての家族 介護者の健康と社会生活 高齢者と家族の意思決定の支援 介護状況と介護力の評価 高齢者や家族の特徴に応じた家族への支援

目標Ⅲ. 多様な生活の場で高齢者の健康を支える看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
9. 多様な場で生活する 高齢者を支える看護	A. 医療施設に入院する高齢者の暮らしと看護	医療施設の種類と特徴 入院する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割
	B. 介護保険施設に入所する高齢者の暮らしと看護	介護保険施設の種類と特徴 介護保険施設における健康管理 入所者の暮らしの特徴と看護の役割
	C. 地域でサービスを利用しながら暮らす高齢者の暮らしと看護	地域密着型サービスの種類と特徴 居宅サービスの種類と特徴 福祉用具・介護用品の活用 サービスを利用する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割
	D. 生活の場を変える高齢者への支援	入院時・入所時・サービス利用開始時の援助 退院支援、退所支援 看護職間・他職種間の情報提供、目標の共有と評価
	E. 長期入院・入所高齢者の看護	長期入院・入所高齢者のアセスメント 長期入院・入所高齢者の生活上の課題と援助
	F. 多職種連携、チームアプローチ	介護職員の専門性と役割の共有 多職種の中での専門性の発揮 目標達成に向けた連携の方法
	G. 避難生活を送る高齢者の看護	避難所での生活と健康維持 災害における高齢者の心理的支援

小児看護学

【小児看護学】

目標 I. 子どもの成長・発達と健康増進のための子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 子どもと家族を取り巻く環境	A. 小児医療・小児看護の変遷と課題	小児医療の変遷と課題 小児看護の変遷と課題 諸統計からみた子どもと家族の健康課題
	B. 子どもの権利	小児医療における子どもの権利の変遷 小児医療・小児看護における倫理的配慮 子どもの権利擁護<アドボカシー>
	C. 子どもと家族を取り巻く社会資源の活用	母子保健施策の活用 小児保健医療福祉施策の活用 小児慢性特定疾病医療費助成制度
2. 子どもの成長・発達	A. 子どもの成長・発達の原則と影響因子	成長・発達の概念 成長・発達の原則 成長・発達に影響する因子 発達課題と発達理論
	B. 子どもの成長・発達のアセスメント	形態的成長と機能的発達の評価 身体発育の評価 発達検査 心理・社会的発達の評価

小児看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	C. 小児期における成長・発達の特徴	神経系 運動器系 感覚器系 循環器系 免疫系 呼吸器系 消化器系 代謝系 泌尿器系 体温調節 大泉門、小泉門 生歯 認知、思考 社会性、道徳性 コミュニケーション、言語 情緒 アタッチメント、分離不安
3. 小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護	A. 栄養と食生活	授乳 離乳 食生活 食育 食生活の乱れ
	B. 生活リズムの確立	睡眠 生活リズム 基本的な生活習慣の確立 ライフスタイル
	C. 遊びと学習	遊びの意義 遊びの分類と発達 運動と遊び 学習の意味
	D. 事故防止と安全教育	事故防止 安全教育 スポーツ外傷の予防
	E. 他者との関係	親子関係の確立 友達関係 社会化

小児看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	F. 感染症と予防	小児期に特徴的な感染症 予防接種 学校感染症
	G. セルフケアと保健教育	う歯の予防 近視の予防 生活習慣病の予防
	H. 問題行動の防止	喫煙・飲酒の防止 不登校の実態 いじめ・校内暴力の防止 自殺の防止 メディア利用の影響
	I. 思春期の成長・発達	第二次性徴 アイデンティティの確立 性<セクシュアリティ>意識の変化と逸脱行動 性への関心

小児看護学

目標Ⅱ．病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
4. 病気や診療・入院が子どもと家族に与える影響と看護	A. 病気に対する子どもの理解と説明	病気に対する子どもの理解の特徴 子どもの理解に関係する要因 発達に応じた病気の説明 インフォームド・アセント
	B. プレパレーション	子どもへの説明と同意 家族の準備状態の把握 検査・処置を受ける子どもと家族への支援
	C. 病気や診療・入院が子どもに与える影響と看護	成長・発達に及ぼす影響 病気や診療・入院に伴うストレスと影響要因 子どもの反応とストレス対処行動
	D. 子どもの病気や診療・入院がきょうだい・家族に及ぼす影響と看護	子どもの病気や診療・入院に伴うきょうだい・家族のストレス きょうだい・家族のストレスへの支援
	E. 痛みを表現している子どもと家族への看護	子どもの痛みの受け止め方 痛みの表現方法 痛みの客観的評価 痛みの緩和に向けた援助
	F. 活動制限が必要な子どもと家族への看護	活動制限の目的 活動制限の身体的・心理社会的影響 子どもの発達に応じた日常生活への援助
	G. 感染対策上隔離が必要な子どもと家族への看護	隔離の目的・方法 隔離の身体的・心理社会的影響 子どもの発達に応じた日常生活への援助 家族の面会や付き添いにおける援助
	H. 外来における子どもと家族への看護	外来における緊急度の把握・トリアージ 外来における感染症対策 受診時の子どもと家族の緊張と不安の軽減 健康診査・育児相談

小児看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
5. 検査や処置を受ける子どもと家族への看護	A. 小児特有の診療（検査、処置）に伴う技術と看護	バイタルサインの測定 身体計測 採血 採尿 骨髄穿刺 腰椎穿刺 与薬 吸入 注射 輸液療法 吸引 酸素療法 経管栄養

小児看護学

目標Ⅲ. 特別な状況にある子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
6. 特別な状況にある子どもと家族への看護	A. 虐待を受けている子どもと家族への看護	子どもへの虐待の特徴 虐待のリスク要因と虐待の早期発見 虐待の未然防止に向けての支援 多機関・多職種連携・協働
	B. 災害を受けた子どもと家族への看護	災害による子どもへの影響とストレス 災害を受けた子どもと家族への援助 災害時における緊急度の把握・トリアージ

小児看護学

目標Ⅳ. 健康課題をもつ子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
7. 急性期にある子どもと家族への看護	A. 急性症状のある子どもと家族への看護	急性的な経過をたどる疾患の特徴と治療 発熱 脱水 下痢、嘔吐 呼吸困難 けいれん
	B. 救急救命処置が必要な子どもと家族への看護	子どもの救急におけるトリアージと対応 子どもの意識レベル 主な誤飲物質と処置 子どもの熱傷の特徴・重症度および処置 溺水と処置 子どもの一次救命処置<BLS> 生命が危険な状況にある子どもと家族への援助
	C. 周手術期における子どもと家族への看護	子どもの手術の特徴 手術を要する健康障害と手術の時期 計画手術、緊急手術 日帰り手術 子どもと家族の術前準備 子どもの安全・安楽への援助 手術中・手術直後の家族への援助 手術後の身体状態のアセスメントと援助 退院に向けての援助
	D. 出生直後から集中治療が必要な子どもと家族への看護	ハイリスク新生児の特徴 集中治療における援助 親子・家族関係確立への支援
8. 慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護	A. 先天性疾患や慢性的な経過をとる疾患をもつ子どもと家族への看護	子どもの疾患に対する家族の受容と援助 疾患による子どもと家族の生活の変化 多職種連携、地域連携 学習支援、復学支援 発達に応じたセルフケア能力の獲得・自立支援 セルフケア能力の獲得のための養育と家族への支援 成人診療科へのスムーズな転科を見据えた移行支援<トランジション>

小児看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	B. 心身障害のある子どもと家族への看護	心身障害の定義と種類 重症心身障害児と家族 発達障害児と家族
	C. 医療的ケアを必要とする子どもと家族への看護	入院生活から在宅への移行に向けた支援 多職種との連携と社会資源の活用 学校・保育所での支援 子どものセルフケア行動の促進
9. エンド・オブ・ライフ<end-of-life>にある子どもと家族への看護	A. 子どもの死の理解と看護	子どもの死の捉え方 死に対する子どもの反応
	B. 子どもと家族への緩和ケア	エンド・オブ・ライフ<end-of-life>にある子どもの心身の状態と緩和ケア 子どもの死を看取る家族の反応

母性看護学

【母性看護学】

目標 I. 母性看護の基盤となる概念、母性看護の対象を取り巻く環境について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 母性看護の対象を取り巻く環境や社会の変遷	A. 母子を取り巻く環境	女性の就業率 婚姻、離婚 周産期医療のシステム 在留外国人の母子支援
	B. 妊娠期からの切れ目ない支援に関する法や施策	母子保健法 児童福祉法 児童虐待の防止等に関する法律 次世代育成支援対策推進法 成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律<成育基本法> 子育て世代包括支援センター<母子健康包括支援センター>
	C. 働く妊産婦への支援に関する法や施策	雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律<男女雇用機会均等法> 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律<育児・介護休業法> 労働基準法
	D. 女性の健康支援に関する法や施策	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律<DV防止法> 母体保護法
2. 母性看護の基盤となる概念	A. リプロダクティブ・ヘルスに関する概念	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 性<セクシュアリティ> セックス、ジェンダー 性の多様性
	B. 母性・父性・家族に関する概念	母性、父性、親性 母親役割、父親役割 母子相互作用、愛着形成 家族の発達・機能
	C. 女性や母子へのケアに関する概念	ヘルスプロモーション ウェルネス 女性を中心としたケア<Women-centered care> 家族を中心としたケア<Family-centered care> プレコンセプションケア

母性看護学

目標Ⅱ. 女性のライフサイクル各期に応じた看護の基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
3. 女性のライフサイクル各期における看護	A. 思春期・成熟期女性の健康維持への看護	第二次性徴 性意識・性行動の発達 性行動、性反応 性周期（初経、月経）
	B. 思春期・成熟期女性の健康課題	月経異常、月経随伴症状 性感染症＜STI＞ 不妊症（男性不妊症、女性不妊症） 生殖補助医療 性暴力被害 人工妊娠中絶
	C. 更年期・老年期女性の健康と看護	ホルモンの変化

母性看護学

目標Ⅲ. 妊娠・分娩・産褥期および早期新生児期における看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
4. 妊娠期の看護	A. 正常な妊娠経過と妊娠期の異常	ヒトの発生・性分化のメカニズム 妊娠期の定義 妊娠の成立 受精、着床 妊娠週数 妊娠の経過と胎児の発育 母体の生理的変化 妊婦と家族の心理・社会的変化 不育症、流産、早産 感染症 常位胎盤早期剥離 前置胎盤 妊娠高血圧症候群 妊娠糖尿病 妊娠貧血 妊娠悪阻 高年妊娠、若年妊娠 胎児機能不全
	B. 妊婦の健康生活とアセスメント	食生活 排泄 活動と休息 清潔 性生活 嗜好品（喫煙、アルコール、カフェイン） 妊娠による不快症状（マイナートラブル）
	C. 妊婦と家族への看護	食生活の教育 健康維持・増進、セルフケアに関する教育 マイナートラブルへの対処 家族の再調整 出産の準備 育児の準備
	D. 妊娠期の健康問題に対する看護	切迫流産、切迫早産 出生前診断

母性看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	E. 妊娠期のケアに必要な技術	Leopold<レオポルド>触診法 子宮底・腹囲の測定 間欠的胎児心拍数聴取 胎児心拍数陣痛図、ノンストレステスト<NST> 胎児の超音波断層法の介助 内診の介助
5. 分娩期の看護	A. 正常な分娩の経過と分娩期の異常	分娩期の定義 分娩の3要素 分娩経過と進行 胎児心拍数 陣痛、産痛、陣痛異常（微弱陣痛、過強陣痛） 破水、前期破水 分娩時異常出血 胎児機能不全
	B. 産婦の健康に関するアセスメント	産婦の基本的ニーズ 産婦の健康状態 産婦の心理・社会的状態
	C. 産婦と家族への看護	産婦の基本的ニーズへの支援 産痛の緩和 産婦と家族の心理への看護
	D. 分娩期の健康問題に対する看護	前期破水 帝王切開術 分娩時異常出血
6. 産褥期の看護	A. 正常な産褥の経過と産褥期の異常	産褥期の定義 産褥期の身体的特徴 全身の変化 生殖器の変化 乳房の変化 子宮復古不全 産褥熱 乳腺炎 マタニティブルー 産後うつ病

母性看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	B. 褥婦の健康と生活のアセスメント	全身状態 子宮復古 分娩による損傷の状態 清潔 食事と栄養 排泄 活動と休息 母乳育児の状況、栄養法 児への愛着と育児行動 褥婦の心理・社会的状態
	C. 褥婦と家族への看護	産褥復古に関する支援 母乳育児への支援 褥婦の日常生活とセルフケア 育児技術獲得への支援 親子の愛着形成の支援 家族関係再構築の支援 退院後の生活調整、産後のサポート
	D. 産褥期の健康問題に対する看護	子宮復古不全 産褥熱 乳房トラブル 帝王切開術後

母性看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
7. 早期新生児期の看護	A. 早期新生児の生理的変化と異常	新生児期の定義 循環器系 呼吸器系 消化器系 代謝系 泌尿器系 神経系 運動器系 感覚器系 体温調節 生体の防御機能 新生児仮死 新生児一過性多呼吸<TTN> 呼吸窮迫症候群<RDS> 胎便吸引症候群<MAS> 高ビリルビン血症 新生児ビタミンK欠乏症 低血糖症
	B. 早期新生児期のアセスメント	Apgar<アプガー>スコア 成熟度の評価 外観 バイタルサイン 皮膚、皮膚色 頭部、顔面 体幹、四肢 外性器 神経学的状態 生理的体重減少 生理的黄疸 哺乳状態 排尿、排便 新生児マスキューニング

母性看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	C. 早期新生児とその家族への看護	気道の開通 保温 全身計測 全身の観察 清潔 哺乳 感染予防 事故防止 保育環境
	D. 早期新生児の健康問題への看護	早産児、低出生体重児 高ビリルビン血症 新生児ビタミンK欠乏症 新生児蘇生

精神看護学

【精神看護学】

目標 I. 精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 精神保健の基本	A. 精神の健康の概念	精神の健康の定義 精神障害の一次予防・二次予防・三次予防
	B. 心の機能と発達	精神と情緒の発達 自我の機能 防衛機制 精神力動 転移感情
	C. 精神の健康に関する普及啓発	精神保健医療福祉の改革ビジョン 偏見、差別、スティグマ 自殺対策
	D. 危機<クライシス>	危機<クライシス>の概念 危機<クライシス>の予防 危機介入 ストレスと対処 適応理論
	E. 災害時の精神保健	災害時の精神保健医療活動 災害時の精神保健に関する初期対応 災害派遣精神医療チーム<DPAT> 災害時の精神障害者への治療継続
	F. 精神の健康とマネジメント	心身相関と健康 身体疾患がある者の精神の健康 精神疾患がある者の身体 患者と家族の精神の健康 保健医療福祉に従事する者の精神の健康 トラウマインフォームド・ケア<TIC>、逆境体験 性の健康に関連する状態

精神看護学

目標Ⅱ. 主な精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
2. 主な精神疾患・障害の特徴と看護	A. 症状性を含む器質性精神障害	※ A～Kの共通の小項目 症状と看護 臨床検査および心理検査と看護 薬物療法と看護
	B. 精神作用物質使用による精神・行動の障害	
	C. 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	
	D. 気分＜感情＞障害	
	E. 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	
	F. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	
	G. パーソナリティ障害	
	H. 習慣および衝動の障害	
	I. 知的障害＜精神遅滞＞	
	J. 心理的発達障害	
	K. 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	

精神看護学

目標Ⅲ. 精神看護の対象の理解と支援のための概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
3. 精神看護の対象の理解と支援のための概念	A. 援助関係の構築	信頼関係の基礎づくり 患者－看護師関係の発展と終結 プロセスレコードの活用 共同意思決定、共同創造<コプロダクション>
	B. セルフケアへの援助	食物・水分の摂取 呼吸 排泄 清潔と身だしなみ 活動と休息 対人関係 安全
	C. 生きる力と強さに着目した援助	レジリエンス リカバリ<回復> ストレングス<強み、力> エンパワメント

精神看護学

目標Ⅳ. 精神疾患・障害がある者の生物・心理・社会的側面に注目した、多角的なアセスメントに基づく看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
4. 精神疾患・障害がある者とその家族への看護	A. 脳の仕組みと精神機能	脳の部位と精神機能 神経伝達物質と精神機能・薬理作用 ストレス脆弱性 脳と免疫機能 睡眠と概日リズム<サーカディアンリズム>
	B. 心理・社会的療法	個人精神療法 集団精神療法、集団力動 心理教育的アプローチ 認知行動療法 生活技能訓練<SST>
	C. B以外の治療法	電気けいれん療法
	D. 身体状態に関する看護	身体合併症のある患者の看護 フィジカルアセスメントとケア
	E. 家族への看護	家族のストレスと健康状態のアセスメント 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント 家族システムのアセスメント 家族への教育的介入と支援 患者-家族関係の調整
	F. 社会復帰・社会参加への支援	リハビリテーションの概念 国際生活機能分類<ICF> 入院患者の退院支援、地域移行・地域定着支援
	G. 精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 精神科デイケア、精神科ナイトケア 精神科訪問看護、訪問看護 精神科外来看護 アウトリーチ 行政との連携（保健所、市町村、精神保健福祉センター）

精神看護学

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	H. 社会資源の活用とケアマネジメント	精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方 社会資源の活用とソーシャルサポート セルフヘルプグループ、家族会 自立支援医療 居宅介護<ホームヘルプ>、同行援護および行動援護 重度訪問介護 生活介護 短期入所<ショートステイ> 生活訓練 就労移行支援 就労継続支援A型・B型 共同生活援助<グループホーム> 地域生活支援事業 精神障害者保健福祉手帳

精神看護学

目標Ⅴ. 精神疾患・障害がある者の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
5. 安全な治療環境の提供	A. 安全管理<セーフティマネジメント>	病棟環境の整備と行動制限 自傷行為、自殺企図、自殺予防 攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム 災害時の精神科病棟の安全の確保
6. 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	A. 患者の権利擁護<アドボカシー>	当事者の自己決定の尊重 入院患者の基本的な処遇 精神医療審査会 隔離、身体拘束
	B. 精神保健医療福祉の変遷と看護	諸外国における精神医療の変遷 日本における精神医療の変遷 精神保健医療福祉における看護師の役割
	C. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>の運用	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>の基本的な考え方 入院形態 精神保健指定医
7. 精神保健医療福祉における多職種連携	A. 多職種連携と看護の役割	連携する他職種（医師、歯科医師、保健師、助産師、精神保健福祉士、作業療法士、介護支援専門員、精神保健福祉相談員、ピアサポーター、薬剤師、公認心理師）の役割 多職種との調整・連携における看護の役割
	B. コンサルテーションと連携	コンサルテーション事例の特徴 コンサルテーションを担う職種の役割 リエゾン精神看護

在宅看護論／地域・在宅看護論

【在宅看護論／地域・在宅看護論】

目標 I. 地域・在宅看護における対象と基盤となる概念、安全と健康危機管理について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 地域・在宅看護の対象	A. 在宅療養者の特徴と健康課題	子どもの在宅療養者 成人の在宅療養者 高齢の在宅療養者 疾病や障害をもつ在宅療養者
	B. 在宅療養者のいる家族の理解と健康課題	家族の定義 家族の機能 キーパーソン 家族発達論 家族システム論 生活様式
2. 地域・在宅看護における基盤となる概念	A. 在宅療養者を取り巻く環境の理解と健康課題	在宅療養者を取り巻く地域の特徴と健康課題 暮らしの場で看護する基本姿勢
	B. 在宅療養者の権利の保障	在宅療養者の権利擁護<アドボカシー> 虐待の防止 個人情報保護と管理 サービス提供者の権利の保護
	C. 在宅療養者の自立支援	価値観の尊重と意思決定支援 QOLの維持・向上 セルフケア 社会参加への援助 閉じこもりの予防
	D. 地域・在宅看護の目的と特徴	パートナーシップ 多職種・多機関の連携によるアプローチ 意思決定支援 自立支援 ケアマネジメント
3. 地域・在宅看護における安全と健康危機管理	A. 在宅療養者の日常生活における安全管理	家屋環境の整備 転倒・転落の防止 誤嚥・窒息の防止 熱傷・凍傷の防止 熱中症の予防

在宅看護論／地域・在宅看護論

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	B. 災害による暮らしへの影響	在宅療養者・家族が行う災害時の備え 発災時の対応と環境の変化
4. 地域・在宅看護実践をめぐり る制度の概要	A. 訪問看護制度の理解	訪問看護の対象と提供方法
	B. 地域・在宅看護におけるサービス体系の理解	訪問系サービス 通所系サービス 施設系サービス（入所、短期入所） 複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護） 在宅看護に関連する法令

在宅看護論／地域・在宅看護論

目標Ⅱ．在宅療養者の病期や症状、暮らし方に応じて展開する在宅看護実践について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
5. 療養の場に応じた地域・在宅看護	A. 病期に応じた在宅療養者への看護	慢性期にある在宅療養者と家族の看護 急性増悪した在宅療養者と家族の看護 終末期にある在宅療養者と家族の看護
	B. 療養の場の移行に伴う看護	入退院支援 退院前カンファレンス 意思決定支援 地域連携クリニカルパス
6. 症状・疾患・治療に応じた地域・在宅看護	A. 主な症状に応じた在宅看護	発熱 消化器症状 疼痛 呼吸困難感
	B. 主な疾患等に応じた在宅看護	医療的ケア児 認知症 精神疾患 難病 がん 脳血管疾患 呼吸器疾患 心不全 糖尿病
	C. 主な治療等に応じた在宅看護	薬物療法 化学療法、放射線療法 酸素療法 人工呼吸療法 人工的水分・栄養補給法<AHN> 褥瘡予防・管理 感染予防対策
7. 在宅療養生活を支える看護	A. 在宅療養者の生活機能のアセスメント	日常生活動作<ADL> 手段的日常生活動作<IADL>
	B. 在宅療養者の食事・栄養を支えるケア	食事摂取能力のアセスメント 食事内容の選択 栄養を補う食品の種類と選択方法 嚥下を促すケア 口腔ケア

在宅看護論／地域・在宅看護論

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
	C. 在宅療養者の排泄を支えるケア	排尿・排便のアセスメント 排泄ケア計画の立案 排泄補助用具の種類と使用 ストーマケア用品の種類と使用 尿道カテーテル管理
	D. 在宅療養者の清潔を支えるケア	清潔のアセスメント 清潔ケア計画の立案 清潔保持のためのケア
	E. 在宅療養者の移動を支えるケア	移動能力のアセスメント ノーリフトケア 移動補助用具の種類と使用 移動時の安全確保
	F. 在宅療養者のコミュニケーションを支えるケア	コミュニケーション能力のアセスメント 対象のコミュニケーション能力に応じた対応 補助機器の種類と使用

在宅看護論／地域・在宅看護論

目標Ⅲ．地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置づけと看護の役割について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
8. 地域ケアシステムにおける多職種連携	A. 行政との連携	※ A～Fの共通の小項目 機関・職種の役割と機能 双方向で行う連携の目的 ケアマネジメント 看護の役割
	B. 地域包括支援センターとの連携	
	C. 居宅介護支援事業所との連携	
	D. 介護サービス事業所との連携	
	E. 医療機関との連携	
	F. その他の機関や住民との連携	
9. 地域包括ケアシステムにおける在宅看護	A. 地域包括ケアシステムの概要	目的と考え方 構成要素 介護予防 生活支援 社会参加
	B. 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割	地域の多様な場における看護職の役割 訪問看護の役割

看護の統合と実践

【看護の統合と実践】

目標 I. 看護におけるマネジメントの基本について理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 看護におけるマネジメント	A. 看護におけるマネジメントの目的と方法	看護マネジメントの目的とプロセス 看護組織の構成と職務 看護行政の動向と看護マネジメント
	B. 医療・看護における質の保証と評価、改善の仕組み	医療・看護の質保証と評価 医療・看護の標準化（標準看護計画、クリニカルパス）
	C. 看護業務のマネジメント	看護業務基準、看護手順 看護提供システム 複数の看護業務が同時に発生した場合の判断や対処方法
	D. 看護業務に関する情報に係る技術と取扱い	医療・看護業務に関する情報の活用と保管 診療記録等の電子化と医療情報システム
	E. 医療安全を維持する仕組みと対策	安全管理体制整備、医療安全文化の醸成 医療事故・インシデントレポートの分析と活用
	F. 看護師の働き方のマネジメント	看護師等の労働安全衛生 看護の交代勤務 ワーク・ライフ・バランスを促進する働き方

看護の統合と実践

目標Ⅱ．災害看護の基本的な知識を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
2. 災害と看護	A. 災害時の医療を支えるしくみ	災害に関する法と制度 災害時の医療体制
	B. 災害各期の特徴と看護	災害各期の特徴 災害時の被災者・支援者の身体反応と心理過程 災害時に生じやすい健康被害の特徴 災害各期における要支援者を含むすべての被災者への看護

看護の統合と実践

目標Ⅲ. 諸外国における保健・医療・福祉の動向と課題について基本的な理解を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
3. 国際化と看護	A. グローバル化に伴う世界の健康目標と課題	世界共通の健康目標 人間の安全保障 プライマリ・ヘルス・ケア
	B. グローバルな社会における看護	看護の対象となる人々（在留外国人、在外日本人、帰国日本人、国際協力活動を必要とする人々）の健康課題 多様な文化を考慮した看護

看護の統合と実践

目標Ⅳ. 複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を問う。

大 項 目	中 項 目 (出題範囲)	
4. 臨床実践場面における統合的な判断や対応	A. 対象や家族に切れ目のない支援を提供するための継続した看護	※A～Eのテーマをもとに、専門分野の各科目で学んだ内容を統合し、臨床実践場面における状況設定問題として出題する。
	B. 複合的な状況にある対象や、複合的に提供されている看護の状況を判断し、危険を回避する取組み	
	C. 看護の提供者が、看護場面において自身の安全を確保するための総合的な判断や対応	
	D. 発災からの経過に応じて被災者に提供される診療や支援を促進するための看護	
	E. A～Dを促進するための多職種連携	

看護師国家試験出題基準・索引

1
1 型糖尿病 46

2
2 型糖尿病 46

A
ACP 42, 53
ADL 40, 50, 79
AED 10
AHN 79
AIDS 27
ALS 21, 47
Alzheimer病 21
AMR 17

B
BLS 34, 62
Buerger病 19

C
CAPD 45
CGA 50
COPD 19, 43
Crohn病 20, 45
CT 34, 44, 47

D
DIC 21
DV防止法 26, 64

E
EBN 31

F
Fallot四徴症 19

G
Guillain-Barré症候群 21

H
HIV 21, 27, 46, 47

HPV 49

I
IADL 50, 79
ICF 51, 74

L
Lewy小体型認知症 21

M
Ménière病 22, 48
MMT 48
MRI 34, 44, 47

O
OGTT 46

P
Parkinson病 21
PCI 44
PTSD 23

Q
QOL 3, 31, 77

R
ROM 48

S
SLE 21
SMBG 46
SpO₂ 34
STI 65

T
TTP 21

W
WHO 1

あ
愛着形成 64, 68
アウトリーチ 74

アシドーシス 20
アセスメント8, 32, 33, 34, 37,
39, 40, 42, 55, 56, 62, 68,
69, 74, 79, 80
アタッチメント 57
アドバンス・ケア・プランニング
<ACP> 42, 53
アドボカシー 2, 51, 56, 76, 77
アナフィラキシーショック ... 21
アポトーシス 17
アルカロシス 20
アルコール 23, 66
アルコール性肝炎 20
アルツハイマー病 21
アレルギー 7, 17
アレルギー性疾患 21, 47
安楽 32

い
胃 14
胃潰瘍 20, 45
胃癌 45
育児・介護休業法 24, 64
意識障害 6
意識レベル 8, 37, 62
意思決定支援 42, 77, 79
医師法 30
移送 8
依存症 26
一次救命処置<BLS> ... 34, 62
遺伝子 11
医療安全 9, 32, 82
医療事故 82
医療的ケア 63
医療的ケア児 79
医療法 30
医療保険 1, 25
医療面接 18, 53
インシデントレポート 82
飲酒 29, 58
院内感染 18, 27
インフォームド・コンセント .. 2
インフルエンザ 21

う

ウイルス 17
 ウイルス性肝炎 18, 45
 ウェルネス 1
 う歯 19
 うつ病 23
 運動麻痺 6

え

栄養 14
 栄養所要量 14
 壊死<ネクロシス> 17
 エックス線撮影 34
 エネルギー代謝 14
 嚥下 14
 嚥下障害 6, 33, 44, 52
 炎症 17
 エンド・オブ・ライフ 63
 エンド・オブ・ライフ・ケア 42,
 53
 エンパワメント 39, 51, 73

お

横隔膜ヘルニア 20
 応急処置 37
 黄疸 6
 嘔吐 62

か

介護保険 2, 25, 51
 介護保険施設 55
 介護保険法 25
 介護予防 52, 81
 概日リズム<サーカディアンリズ
 ム> 11, 74
 回復期 52
 潰瘍性大腸炎 20, 45
 化学療法 18, 43, 79
 過活動膀胱 22
 隔離 59, 76
 下垂体 15
 家族機能 24
 家族形態 3, 36
 家族システム 74, 77
 学校 4, 63
 学校保健 28
 加齢 50

がん 6, 79
 肝炎 20
 肝臓 20, 45
 がん患者 41, 42
 肝機能障害 45
 がん検診 16
 肝硬変 20, 45
 看護過程 8, 32
 看護師等の人材確保の促進に關す
 る法律 2, 30
 関節 12
 関節可動域<ROM>検査 48
 関節リウマチ 48
 感染経路別予防策 32
 感染症 .6, 27, 28, 37, 38, 54,
 58, 66
 感染症法 27
 感染性廃棄物 32
 肝臓 14
 がん対策基本法 28
 カンファレンス 79
 緩和ケア 42

き

キーパーソン 77
 気管支炎 19, 43
 気管支喘息 19, 43
 基礎代謝 3, 14
 喫煙 1, 29, 58, 66
 気道 13
 基本的人権 2, 31
 基本的欲求 3
 虐待 61, 77
 逆流性食道炎 20
 吸引 9, 33, 43, 60
 嗅覚 12
 救急救命処置 62
 急性期 37, 52, 62
 急性腎不全 46
 吸入 43, 60
 救命救急処置 34
 胸骨圧迫 10
 狭心症 19
 虚血性心疾患 19, 44
 ギラン・バレー症候群 21
 切れ目のない支援 85
 筋萎縮性側索硬化症<ALS> .21,
 47

く

筋ジストロフィー 22
 くも膜下出血 21
 クリニカルパス 82
 クリティカルケア 37
 クリティカル・シンキング ... 31
 クロウン病 20, 45

け

ケアマネジメント ... 75, 77, 81
 鶏眼 22
 経管栄養 60
 経管栄養法 9, 33
 経腸栄養法 9, 33, 44
 経皮的冠脈形成術<PCI> .. 44
 経皮的動脈血酸素飽和度<SpO₂>
 34
 けいれん 6, 62
 下剤 7
 血圧 13, 33
 血液 13
 血液学検査 6
 血液型 13
 血液凝固 13
 血液生化学検査 6
 血液透析 45
 結核 21, 27
 血管造影 43
 月経異常 22, 65
 血小板減少症 47
 血栓性血小板減少性紫斑病
 <TTP> 21
 血糖自己測定<SMBG> 46
 下痢 6, 52, 62
 健康寿命 1, 27
 健康診査 28, 59
 健康診断 16, 28
 健康増進法 28
 健康日本21 28
 健康保険法 25
 言語障害 6
 言語的コミュニケーション ... 8
 権利擁護<アドボカシー> 2, 51,
 56, 76, 77
 こ
 降圧薬 7

抗がん薬 7
 高血圧 19
 抗血栓薬 7
 膠原病 47
 公衆衛生 27, 28
 恒常性 5
 甲状腺 15
 甲状腺機能亢進症 20
 甲状腺機能障害 46
 後天性免疫不全症候群<AIDS> 27
 高尿酸血症 20
 更年期 65
 更年期障害 22
 高ビリルビン血症 70
 高齢者医療確保法 25, 51
 高齢者医療制度 1
 高齢者総合機能評価<CGA> .. 50
 誤嚥 8, 9, 52, 77
 呼吸 14
 呼吸困難 6, 62
 呼吸障害 17
 国際化 84
 国際生活機能分類<ICF> 51, 74
 国民医療費 1
 国民皆年金 25
 国民健康保険 25
 個人情報 77
 子育て世代包括支援センター .64
 骨格 12
 骨格筋 12
 骨髄穿刺 60
 骨折 22, 48, 54
 骨粗鬆症 22, 54
 コミュニケーション 32, 52, 57, 80
 コミュニティ・グループ 24
 誤薬 9, 32
 雇用保険法 25
 コンサルテーション 76

ナ

サーカディアンリズム ... 11, 74
 災害 55, 61, 78, 83
 災害時 71
 細菌 17
 採血 9, 60
 再興感染症 27
 剤耐性菌 17

在宅療養者 77, 79, 80
 細胞 11
 細胞性免疫 46
 在留外国人 84
 産褥期 67
 酸素吸入 33
 酸素マスク 9
 酸素療法 9, 43, 60, 79
 三大栄養素 14

シ

死因 1, 27
 視覚 12
 子宮 15
 子宮筋腫 22, 49
 市区町村保健センター 27
 止血法 10, 34
 嗜好品 1
 自己免疫疾患 21, 47
 自殺 28, 58, 71, 76
 脂質異常症 20, 45
 歯周病 19
 思春期 58, 65
 視診 18, 32
 市町村 4
 失禁 8
 児童相談所 25
 自動体外式除細動器<AED> .. 10
 児童福祉法 26
 死の三徴候 5
 社会参加 40, 41
 社会的欲求 3
 社会保障制度 25
 周手術期 62
 周術期 37
 重症筋無力症 22
 重症心身障害児 63
 十二指腸潰瘍 20, 45
 終末期 33, 42, 79
 手術療法 18, 37, 41, 53
 受精 15, 66
 手段の日常生活動作<IADL> 50, 79
 術後合併症 37
 腫瘍 17, 19, 20, 21, 43
 循環障害 17
 昇圧薬 7

障害高齢者の日常生活自立度<寝たきり度>判定基準 50
 障害者基本法 26
 障害者総合支援法 26
 少子化 24, 26
 小腸 14
 小脳 11
 静脈 13
 食事療法 18, 45
 触診 18, 32
 褥瘡 10, 79
 食道 14
 食道癌 45
 助産所 4, 30
 ショック 6, 19, 37
 自律神経失調症 21
 腎移植 45
 腎盂腎炎 22
 腎炎 22
 腎癌 22
 心機能 12
 真菌 17
 心筋炎 19, 44
 心筋症 19
 神経 12
 神経細胞<ニューロン> 11
 新興感染症 27
 人口構造 24
 人工肛門 45
 人工呼吸 10
 人工呼吸療法 79
 人工的水分・栄養補給法<AHN> 79
 人工妊娠中絶 65
 侵襲的陽圧換 43
 新生児 69
 腎臓 14, 15
 陣痛 67
 心的外傷後ストレス障害<PTSD> 23
 心電図 34, 43
 深部静脈血栓症 19, 38, 44
 心不全 19, 44, 79
 腎不全 22
 心房中隔欠損症 19
 蕁麻疹 22
 診療所 4, 30

す

脾臓 14
 睡眠障害 6
 健やか親子21 (第2次) 28
 スタンダードプリコーション . 9,
 32
 ステロイド療法 46
 ストーマ 80
 ストレス1, 16, 36, 59, 61, 71,
 72

せ

成育基本法 64
 生活習慣 16
 生活習慣病 6, 29, 36, 58
 生活保護法 26
 性感染症<STI> 65
 性行動 65
 清拭 8
 性周期 15, 65
 精神作用物質 23, 72
 精神疾患 6, 71, 79
 精神保健 28
 精神保健福祉法 26, 76
 精巣 15
 セーフティマネジメント 32, 37,
 76
 世界保健機関<WHO> 1
 脊髄 11
 セクシュアリティ ... 52, 58, 64
 赤血球 13
 摂食障害 23
 セルフケア 31, 38, 39, 58, 62,
 63, 66, 73, 77
 セルフヘルプグループ 75
 染色体 11
 全身性エリテマトーデス<SLE>
 21
 先天異常 17
 先天性疾患 62
 先天性心疾患 19
 洗髪 8
 せん妄 23
 前立腺 15
 前立腺炎 22, 49
 前立腺癌 22, 49
 前立腺肥大 22, 49

そ

臓器移植 18
 臓器不全 17
 創傷 10, 17, 34, 37
 ソーシャルサポート . 24, 74, 75
 鼠径ヘルニア 20

た

体位ドレナージ 9
 体位変換 8
 退院支援 39, 55, 74
 退院調整 4, 38, 39
 体液 13
 体温 15
 代謝機能障害 45
 帯状疱疹 22
 大腸 14
 大腸癌 45
 大腸ポリープ 20
 大動脈解離 19
 大動脈瘤 44
 第二次性徴 3, 58, 65
 大脳 11
 胎盤 13
 代理意思決定支援 37, 42
 多職種連携 39, 40, 55, 62, 76,
 81, 85
 打診 18, 32
 脱水 6, 20, 62
 脱水症 54
 胆管炎 20
 男女雇用機会均等法 24, 64

ち

チアノーゼ 6
 地域ケアシステム 81
 地域包括ケアシステム .. 25, 51,
 74, 81
 地域包括支援センター 4, 25, 81
 地域保健 28
 地域保健法 27, 28
 地域密着型サービス 55
 チーム医療 4
 窒息 9
 知的障害 72
 乳房 15
 中心静脈栄養法 44

虫垂炎 20
 超音波 34, 49
 聴覚 12
 聴診 18, 32
 腸蠕動音 8

つ

椎間板ヘルニア 22, 48

て

適応障害 23
 転移 41
 電解質 45
 電解質バランス 13
 てんかん 21
 点滴静脈内注射 9
 転倒 9, 32, 52, 77
 転落 9, 32, 52, 77

と

統合失調症 23, 72
 導尿 8, 48
 糖尿病 7, 20, 29, 79
 糖負荷試験<OGTT> 46
 動脈 13
 特定健康診査 29
 特定保健指導 29
 徒手筋力テスト<MMT> 48
 トランジション 62
 トリアージ 10, 59, 61, 62
 ドレーン管理 37

な

内視鏡 18, 34
 難聴 22
 難病 42, 79
 難病法 28

に

日常生活援助 8
 日常生活援助技術 33
 日常生活動作<ADL> 40, 50, 79
 乳癌 22, 49
 乳腺炎 22
 入退院支援 79
 ニューロン 11
 尿管 14

尿検査 6
 尿失禁 33, 49, 52
 尿道カテーテル 80
 尿路感染症 49
 妊娠期 66
 妊娠経過 66
 認知症 21, 54, 79
 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準 50

ね

ネクロシス 17
 熱傷 37, 62, 77
 熱中症 37, 77
 ネブライザー 9

の

脳血管疾患 79
 脳血管障害 21, 47
 脳梗塞 21
 脳腫瘍 47
 ノーマライゼーション 2, 25, 50

は

パーキンソン病 21
 バージャー病 19
 パーソナリティ障害 72
 肺 13
 肺炎 19, 43
 肺癌 19, 43
 敗血症 21
 肺血栓塞栓症 38
 排泄 33
 肺塞栓症 19, 44
 バイタルサイン .8, 32, 37, 60, 69
 排痰法 33
 排尿障害 22
 廃用症候群 .8, 17, 38, 40, 52
 白内障 22, 54
 麻疹 21
 播種性血管内凝固<DIC> 21
 発達課題 31, 36, 50, 56
 発達障害児 63
 パニック障害 23
 針刺し 32

ひ

非言語的コミュニケーション .8
 鼻腔カニューラ 9
 非侵襲的陽圧換気 43
 悲嘆 42
 ヒトパピローマウイルス<HPV>
 検査 49
 ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感
 染症 21, 27, 47
 皮膚炎 22
 肥満 45
 肥満症 20
 病院 4, 30
 病原体 17
 標準予防策<スタンダードプリ
 コーション> 9, 32
 ビリルビン 14
 貧血 6, 21, 47

ふ

ファロー四徴症 19
 フィジカルアセスメント .8, 32, 53, 74
 風疹 21
 副作用 (有害事象) 7, 9, 18, 34
 副腎皮質ステロイド薬 7
 腹膜透析<CAPD> 45
 浮腫 20
 扶助 26
 不整脈 6, 19, 44
 不妊症 65
 プライマリ・ヘルス・ケア ... 84
 フレイル 52
 プレコンセプションケア 64
 プレパレーション 59
 分娩 67
 分娩期 67

へ

平均寿命 1, 27
 平均余命 1, 27
 平衡感覚 12
 ペースメーカー 44
 ヘルスプロモーション ... 27, 64
 変形性関節症 22, 54
 変形性膝関節症 48
 便失禁 33

胼胝 22
 便秘 6, 52
 弁膜症 19

ほ

保育所 63
 防御機構 13
 膀胱 14
 膀胱炎 22
 放射線治療 18
 放射線療法 41, 79
 包帯法 34
 訪問看護 78, 81
 訪問看護ステーション ... 4, 30
 保健師助産師看護師法 ... 2, 30
 保健所 27, 74
 母子健康手帳 28
 母子保健 28, 56
 母子保健法 64
 母体保護法 64
 ボディイメージ 37, 38
 ボディメカニクス 8, 32
 母乳育児 68
 ポリファーマシー 53
 ホルモン 15
 ホルモン療法 48

ま

麻酔 18, 37
 マネジメント 82
 麻薬 7
 慢性期 52, 79
 慢性呼吸不全 42
 慢性疾患 39
 慢性腎臓病 22, 46
 慢性心不全 42
 慢性腎不全 46
 慢性閉塞性肺疾患<COPD>19, 43
 マンモグラフィー 49

み

味覚 12
 民生委員 25

め

迷走神経反射 19
 メタボリックシンドローム ... 20

滅菌 9
 メニエール病 22, 48
 免疫異常 17
 免疫血清学検査 6

も

毛細血管 13
 モニタリング 34
 問診 18, 32

や

薬害 18
 薬剤耐性<AMR> 17
 薬疹 22
 薬物 7, 18, 23
 薬物依存 26
 薬物治療 53
 薬物動態 18, 53
 薬物療法 9, 41, 43, 79
 薬理作用 18
 薬効 9

ゆ

有害事象 7, 9, 18, 34

有訴者 1
 有病率 1, 27
 輸液 9, 34
 輸液療法 60
 輸血 9, 18, 34

よ

要介護 2, 50
 要介護認定 25
 要支援 2, 50
 腰椎穿刺 60
 予防接種 16, 27, 58
 与薬 9, 34, 60

ら

ライフサイクル 31, 50, 65
 ライフスタイル 24, 36, 57
 卵巣 15

り

罹患率 1, 27
 リスクアセスメント 37
 利尿薬 7

リハビリテーション 18, 40, 53, 74
 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 64
 流行性耳下腺炎 21
 療養環境 32, 33
 緑内障 22
 臨死期 42
 リンパ液 13
 リンパ節 13
 倫理原則 2

れ

レビー小体型認知症 21

ろ

労働安全衛生法 24, 29
 労働基準法 24, 64
 老年症候群 17

わ

ワーク・ライフ・バランス¹, 29, 82